

## 令和元年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越地域のエネルギー環境教育の推進とそれに関わる地域ネットワークづくり
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・山縣耕太郎
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越市生活環境課など (担当者職名・氏名)
4 事業の趣旨・目的	エネルギー環境問題への対応は、現代社会において極めて重要な課題であり、教育の担うべき役割も大きい。われわれ学内の研究グループは、平成17年度から平成19年度までの3年間、エネルギー環境教育地域拠点大学として活動を行ってきた。その中で、地域のエネルギー教育実践校や、行政、NPO、企業などとの関係を培ってきた。また、活動を通して、地域の特徴を活かしたエネルギー環境教育の可能性や、エネルギー環境教育を推進していくための地域ネットワークの重要性を認識している。そこで、本事業では、これらの成果を充実・継続する必要性から、上越地域の実情に即したエネルギー環境教育を行うための情報、資料を地域の学校に提供し、エネルギー環境教育を推進するための地域ネットワークを育成することを目的とした活動を行う。
5 事業活動報告	<p>上越市が主催する緑のフェスティバルへの参加、および環境フェアの開催を行い、エネルギー環境教育に関わる普及活動、啓蒙活動行うとともに、環境に関わる活動を行っている地域のNPOなどと交流、情報交換を行った。環境フェアについては、昨年度から本地域貢献事業関係者が事務局となり、運営を行った。</p> <p>また、すでに作成してあるデータベース教材の充実化のため、資料、情報の収集を行った。</p>
6 本事業で得られた成果	<p>これまでに培ってきた地域のNPOや行政、学校とネットワークをさらに維持、拡大していくことができた。上越地域および全国のエネルギー環境に関わる情報収集を行うことができた。各団体との情報交換や、エネルギー環境教育情報センターからの情報収集は今後も継続する。</p> <p>環境フェアについては、これまで上越市が主催する形で行われてきたが、一昨年度からは、本事業関係者が事務局となって実施することとなった。今年度は、令和元年6月30日(日)に上越科学館において開催した。上越市および上越教育大学にも共催をいただいた。22団体が参加し、約1600人の参加者を得て盛会であった。本事業を通して、上越市における環境に関わるネットワークがより充実したものとなり、その中で上越教育大学重要な役割を果たすことが期待される。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	環境フェア開催前の実行委員会の資料を添付します。

# 令和元年度 環境フェア実施概要

## 1 環境フェアの概要

### (1) 実施目的

環境保全・改善について市民の意識高揚を促すための総合的な普及活動の場として開催する。

### (2) 実施内容

市民団体や企業、行政による体験コーナー・各種展示等  
(各団体の提案による企画の実施)

- ① 名 称 環境フェア 2019
- ② 日 時 令和元年 6 月 30 日(日)午前 9 時から午後 3 時まで
- ③ テーマ はじめようぼくたちわたしたちができること
- ④ 会 場 上越科学館 1 階(上越市大字下門前 446-2)

### (4) 実施状況

参加団体 ~~22~~<sup>18</sup> 団体  
来場者数 1615 人 (昨年度 1286 人)  
事業費